

令和5年度 RX推進取組一覧

■業務運営No1～ ■教育・学生支援No49～ ■医療No76～ ■研究No112～ ■地域貢献・国際交流No119～ ■取組中止No123～

No	区分	取組ラベルNO	取組名	取組概要	実施効果	進捗状況 (3月確認)	進捗の課題等	実施担当部署名等	DX作業(予定)期間
1	業務・運営	23B10-10	UPKIサーバ証明書管理のデジタル化	更新期限の30日前にNIIから通知は来るが、各事務システムのベンダーとの調整や自ら更新作業を行う場合は、業務手順が難しいため事前準備が必要となる。作業が必要なサーバ(9つ)の更新情報をリスト化し、次回更新日の40日前にTeamsに自動通知が来るように仕組み化し、作業内容の確認など前もって慌てずに対応できるようにした。	申請者および当係の作業効率の向上 担当業務の年間スケジュール・進捗状況の見える化	4_実施済		総務部情報企画課情報推進係	
2	業務・運営	23B10-11	人給システムパスワード変更申請のシステム化	年1回定期的なパスワード更新作業を行っているが、人給システムについては端末登録型ローカル認証のため、年度途中で利用者が変更になった場合でも、前任者に付与していたパスワードを継続して使用してもらっていたが、情報セキュリティの観点から、利用者が変更になった場合もパスワード変更申請をもらうようシステム化した。(Formsにて申請、PowerAutomateによる自動通知)	情報セキュリティ上の安全性の確保 申請者および当係の作業効率の向上	4_実施済		総務部情報企画課情報推進係	
3	業務・運営	23B10-12	チャットボットの導入	図書館の利用に関する問合せ等への対応のため、チャットボットを導入することを検討している。	学内外の図書館利用者が、時間や場所に囚われず、必要な時に問合せを行うことができる。	1_未着手	導入する場合ランニングコストが発生する。まずは図書館ウェブサイトの存在の周知が優先事項であり、図書館公式SNSを活用しウェブサイトへのアクセスを促進しているところである。	附属図書館情報サービス課サービス企画係	2099/03/31
4	業務・運営	23B10-13	定例報告の電子決裁化	定例報告が必要な調査書類に係る決裁処理について、書類回付に代わり電子決裁としてTeams「承認」アプリを利用することにより簡略化した。	ペーパーレスの推進。 決裁業務の簡略化(押印省略、時間短縮化)	4_実施済		総務部情報企画課情報推進係	
5	業務・運営	23B10-14	財務会計システムRemoteApp登録の対応簡略化	メールでの依頼・完了連絡をTeams上のやりとりで共有できるように変更した。	部署間との情報共有手段の効率化 申請者および当係の作業効率の向上 作業完了までの時間の短縮	4_実施済		総務部情報企画課情報推進係	
6	業務・運営	23B10-17	物流データ抽出作業の自動化	電子ポータル内、物流システムより出力作業を行う。出力方法などRPAを用いて自動化可能がシステム管理室と相談中。	・作業時間の効率化	4_実施済	物流データの抽出日が毎月変動するため、出力時期の調整が必要となる。	上原キャンパス事務部企画課経営分析係	未定
7	業務・運営	23B10-19	教室等の一時貸付に伴う申し込みシステム	教室等の貸付において年間約200件以上の申込に対応しているが、これらを電子申請にて行うことで事務の入力作業や料金算出手間を省きたいと考えている。	どこまでをDX化できるかによって実施効果の幅が変わる。 構想段階であり、具体的な効果は未定です。	2_実施中 (進捗50%未満)	貸付の場合は申請が1件でも、借りる日、借りる部屋、借りる時間が、それぞれバラバラとが多々あり、フォーマットでの入力が困難なことが分かった。また、ホテルの予約システムのようなシステムの構築について、各学部と意見交換会を行ったが、予約の可否を事前に登録しておく必要があり、返って業務が増えるという意見があった。現状から、システムの導入自体について再度検討中である。	財務企画課資産管理係及び教室等を貸出す各部署の総務担当係	未定
8	業務・運営	23B10-2	複数部署発令の非常勤講師の勤怠・年休管理	複数部署発令の非常勤講師については、年休は個人単位で管理する必要があり、現在は該当部署と人事企画課任用係とメールにて情報共有をして、管理している。Teams上のExcelを担当者が共有し、勤怠・年休管理の効率化を図りたい。	・業務の効率化	2_実施中 (進捗50%未満)		学生部教育支援課	数ヶ月
9	業務・運営	23B10-20	求人票提出のオンライン化	これまで求人票自体のオンライン手続きは行われていたが、それに付随する法的文書については紙媒体での提出であった。これをオンライン上で提出できるように、かつ、企業ガイドブックやパンフレットもpdf等で添付できるようにシステムの改修を行う予定。	学生の利便性向上と紙媒体保管の紙媒体提出確認作業や代打ち等の軽減	4_実施済		学生部学生支援課就職係	6か月
10	業務・運営	23B10-21	業績評価システム	教員の業績評価調書について、現在の主たる提出・受理のツールであるメールからシステムに移行することで、部局全員分の調書やエビデンスを取り扱う評価者(及び担当事務)の業務を効率化するとともに調書の取違い・紛失などのリスクを低減する。また、業績評価の対象となる約750人の教員の負担軽減のため、研究者データベース等の既存システムに入力された各種データとの連携の可能性を検討し、重複する作業を削減しつつ、エビデンスに基づいた評価が適切に行われるシステムの導入を目指す。	①業績評価を担当する教員の評価作業の状況把握を含む作業負担の軽減、②メールによるデータやり取りに伴う取違い等のリスクの低減及びそれに起因する不服申立対応の負担軽減、③業績評価の対象となる約750人の教員の作業負担の軽減、④担当事務部の作業負担の軽減など 【現時点での導入効果試算】教員：約1,300時間①②③、事務：約700時間の評価関係作業時間の削減②④	3_実施中 (進捗50%以上)	全学業績評価委員会の下に「業績評価システム導入検討ワーキンググループ」を設置し、システムに求める具体的な要件について検討を開始した。今後R5年度中に仕様書を作成し、R6年度はシステム調達及び構築を進める予定である。	総合企画戦略部 経営戦略課評価・IR係	R6.4以降10か月程度
11	業務・運営	23B10-22	知財システムの導入	今までエクセルで入力、管理していた知財の情報をシステム導入により、企業とのマッチング情報から共同研究・受託研究の情報、知財について発明届～出願、登録、権利維持までを一元管理する	発明届～出願、登録まで数年を要する事務業務の確認作業に要する時間短縮、特許権の権利維持についての手続きもれ、予算元への報告漏れを防ぐ。また、企業とのマッチング情報から共同研究、受託研究契約、共同出願契約、実施許諾契約等も一元管理することにより、本学の外部資金獲得状況や知財の保有、活用状況を把握することで、本学の産学連携・知財業務の戦略に活用する。	3_実施中 (進捗50%以上)	クラウドシステム導入申請について、情報化統括責任者の承認を得て、現在経理課にてシステム構築の委託業務手続中。	総合企画戦略部 研究推進課 産学連携推進係	
12	業務・運営	23B10-23	振込依頼書の電子化	現在紙で提出してもらっている振込依頼書等について、Forms等の電子フォーマットへの変更を検討している。	・内容確認・入力作業時間の低減(20～30件/日×5～15分/件→一括取込により1回15分程度?) ・転記ミスの低減が見込める	2_実施中 (進捗50%未満)		財務部経理課収入・支出係	6か月程度
13	業務・運営	23B10-24	病院職員の必須研修の受講状況確認・受講勧奨などの自動化	全病院職員が受講対象となる必須研修において、従来、紙媒体で提出していた研修受講報告書をoffice365のformsでの提出に変え、PowerAutomateを使い、受講状況の管理及びミニテストの不合格者への再受験依頼を自動化した。	病院における研修の受講管理業務が9割以上削減できると考える。 2023/12/31時点で一部の研修については、受講状況の管理、未受講者への受講勧奨が自動化され業務量が8割程度は削減されたと考えている。	3_実施中 (進捗50%以上)	【課題】①研修の提供体制が学内で画一的に決められていない。②研修動画の提供フォームがバラバラ。③アドレスを持っていない職員へのリマインドなどが難しく受講状況の管理が煩雑。	上原キャンパス事務部総務課 教育研修係、労務・職員係	未定(ソフト面での整備は2024/3/31で完了)
14	業務・運営	23B10-26	教員活動報告フォーム	Microsoft Formsで教員の活動状況(地域貢献、国際貢献、FD)を常に収集し、各種調査や教員業績評価のエビデンスとして活用する。	各種調査や教員業績評価の対応に当たる教職員の資料収集に係る負担軽減	4_実施済	特になし	国際地域創造学部総務係	1ヶ月程度
15	業務・運営	23B10-27	過払金等に係る払戻請求手続きのオンライン化	本法人に対して過払等があった際、払戻請求に係る様式(紙又はエクセル)を提出してもらっているが、これをオンラインで請求できるよう方法を変更する。	払戻請求者は特にPCがなくても、スマホで入力・請求が可能となる。また入力された口座情報等はデータで取得できるため、転記ミス等を低減できる。	4_実施済	実施済	財務部経理課収入・支出係	
16	業務・運営	23B10-28	電子データで受領した会計書類(請求書、納品書等)の電子データ提出による効率化	従来、会計書類(請求書、納品書等)の経理課への提出は全て紙媒体であったが、電子データで受領した会計書類については、以下の方法を用いて電子データのまま提出可能とした。(※検収サインは、電子スタンプで代用可能とした。)【立替払請求書】電子決裁システム上で経理課担当者を合議に含め、経理課担当者は書類を電子決裁システムから取得する。【教員等発注】SharePointで部局と経理課との書類受渡フォルダを作成し、経理課担当者は書類をSharePointから取得する。	教員や部局会計担当者が電子データで受領した会計書類を印刷する必要がなくなり、紙書類の電子化及び作業効率化に寄与している。	4_実施済	実施済	財務部経理課	実施済

令和5年度 RX推進取組一覧

■業務運営No1～ ■教育・学生支援No49～ ■医療No76～ ■研究No112～ ■地域貢献・国際交流No119～ ■取組中止No123～

No	区分	取組ラベルNO	取組名	取組概要	実施効果	進捗状況 (3月確認)	進捗の課題等	実施担当部署名等	DX作業(予定) 期間
17	業務・運営	23B10-29	入学検定料に係る払戻請求手続きのオンライン化	1次試験不合格者等に対して入学検定料の払戻を行う際、払戻請求に係る様式(紙)を提出してもらっているが、これをオンラインで請求できるよう方法を変更する。	払戻請求者は特にPCがなくても、スマホで入力・請求が可能となる。また入力された口座情報等をデータで一挙に取得できるため、システムへの取込作業が大幅に削減でき、転記ミス等も低減できる。	1_未着手	「過払金等に係る払戻請求のオンライン化」で用いた方法を、入学手続き業務の中に落とし込む必要がある。	学生部入試課 財務部経理課	6か月程度
18	業務・運営	23B10-4	適格請求書発行事業者の登録状況の確認	インボイス制度の導入に備えて、取引業者に対し適格請求書発行事業者であるか等の確認をMicrosoft Formsで行っている。	・業者の回答内容をデータで集計でき、財務会計システムに取り込みが可能。	4_実施済		財務部経理課契約第三係	
19	業務・運営	23B10-5	納付金決済システムの導入	銀行窓口のみとしている状況は、経理課担当係ともネットバンキングでの納付対応について検討を進めているが、ネットバンキングよりもクレジットカード利用が多いことが見込まれるため、多くの支払方法を網羅できる納付金システムを導入検討中	納付金システム導入により、納付対応業務の軽減および納付者に多くの支払方法を提供できる。	2_実施中 (進捗50%未満)	今年度実施に向けて、現在調整中	学生部入試課 学部入試第一係	不明
20	業務・運営	23B10-6	WEB出願システム	志願者自身で出願情報を入力し、それをもとに出願確認表、宛名ラベルを出力して出願するシステム。入試管理システムと連携し、志願者情報をデータ管理化する。	志願者が出願書類を取り寄せる必要がなくなり、出願手続きを簡略化した。また、願書受付時の各学部担当者の確認作業の軽減に繋がった。	4_実施済		学生部入試課 学部入試第一係	不明
21	業務・運営	23B10-7	オープンキャンバスプログラム管理システム (OCANs)	WEB申込み～当日の出欠、実施後のアンケートまでをシステムで一元管理化する。	対面及びWEBの双方に対応したシステムのため、オープンキャンバスだけでなく、その他の入試説明会で参加者管理が容易となった。対面での開催については、参加者数を制限することで、コロナ禍においても対面での実施が可能となった。	4_実施済		学生部入試課 学部入試第二係	4ヶ月程度
22	業務・運営	23B10-8	FDのアーカイブ化	アドミッション部門が開催するFDをアーカイブ化し、動画で学内限定で公開	参加できない教職員が後日視聴することができるようになり、多くの教職員が参加可能な体制となった。	4_実施済		アドミッション部門、 入試企画係	1ヶ月程度
23	業務・運営	23B10-9	事務系LAN接続申請における機器変更時の利便性向上について	機器変更については、MACアドレスの変更を実施した後、旧端末は事務系LANに繋がらなくなるため、データ移行ができないという問い合わせが多くあり、旧端末もネットワークに繋げて欲しい依頼が発生し、対応の煩雑化が目立っていた。また、上記の状況を避けるために新端末を新規で申請するが、旧端末の廃棄申請忘れが多く、当係で管理している端末管理表との整合性が合わなくなっていた。そこで、旧端末となるPCに一時的に事務系ネットワークに接続可能なIPアドレスを自動付与し、申請者には、期限付きで新旧PCどちらともインターネットを使用できる環境を提供することにした。また、接続期限が来たら当係宛てにTeamsで自動通知する仕組みを構築した。	申請者および当係の作業効率の向上	4_実施済		総務部情報企画課情報推進係	
24	業務・運営	23B11-1	職員録データ検索システムのリプレース	旧学内広報サーバの運用停止に伴う職員録データ検索システムのリプレースであり、現行システムは構築して10年以上が経過しているため、ハード面・ソフト面ともに刷新し、総務課広報係と情報企画課情報推進係で内製化を検討。また、運用面の見直しを行い、ノーコード・ローコード開発ツールを使用してWebアプリケーション化を予定している。	Webデータベースを採用して、Excel・Accessの脱却を行う。編集は各部局で行い、同時編集可能・即時反映とする。【効果】・ミスの発生による作業のやり直しを防ぐ・即時反映のため、最新の職員データを検索可能・広報係および情報推進係の業務の効率化・作業時間の短縮	4_実施済		総務課広報係 情報企画課情報推進係	3ヶ月程度
25	業務・運営	23B11-2	規則集システム「じょうれいくん」の導入	従来、学内広報及び公式HPにそれぞれ掲載していた規則等をデータベース化し、更新作業から学内外への公表を一元化する規則集システム「じょうれいくん」を導入した。	①全子規則等のデータベース化 各学部等で制定、改廃、データ管理していた規則等をシステム上でデータベース化し、全学的に管理することが可能となった。 ②制定、改廃作業の画一化 各担当者によってバラツキのあった、制定、改廃作業をシステム上で行うことで、体裁や使用する文字のバラツキを画一化した。 ③更新作業の効率化と時短 部局と規則等データ(ワード及びPDF等)をメールでやり取りし、当該データを学内広報規則集及び公式ウェブサイトに掲載/更新する作業を異なる方法で行っていたが、システム上で制定及び改廃データの作成から公布許可ができるようになり、作業が効率化され、公表までの時間が短縮された。	4_実施済		総務部総務課法規文書係	規則等データの収集と各部局への照会及び調整期間も併せて、導入まで2年程度
26	業務・運営	23B11-3	年末調整システム	総務部職員課給与支給係(以下「給与支給係」という。)において所掌している年末調整業務をシステム化し、業務効率化、超過勤務の削減、時間外労働手当の削減及び申告者の利便性向上を図る。	業務効率化、超過勤務の削減、時間外労働手当の削減及び申告者の利便性向上	4_実施済		総務部職員課給与支給係	
27	業務・運営	23B11-4	年末調整の電子化	総務部職員課給与支給係(以下「給与支給係」という。)において所掌している年末調整業務をシステム化し、業務効率化、超過勤務の削減、時間外労働手当の削減及び申告者の利便性向上を図る。	業務効率化、超過勤務の削減、時間外労働手当の削減及び申告者の利便性向上	4_実施済		総務部職員課給与支給係	
28	業務・運営	23B11-5	Asanaを活用した個々のプロジェクト進捗状況の把握	個々のプロジェクトの進捗状況を可視化する。	個々のプロジェクトの進捗状況を可視化することにより、作業の遅延や漏れを防ぐことに寄与。また、所長と進捗状況を共有することにより、業務負担を分散するなど適切な業務管理に活用している。	4_実施済		島嶼地域科学研究所	
29	業務・運営	23B11-6	teamsを活用した施設管理	紙ベースで行っていた研究所に関連する会議室などの施設・ZOOMなどの備品の管理をteamsで管理する。	教員自ら入力することにより、効率的に施設・備品等の管理が行えるようになった。	4_実施済		島嶼地域科学研究所	
30	業務・運営	23B11-7	給与明細WEB閲覧システム	本学に所属する全教職員が給与明細をweb上で閲覧できるよう、システム導入を行った。	いつでもどこでも給与明細が閲覧できることから、使用者の利便性が向上した外、超過勤務の削減につながった。	4_実施済		総務部職員課給与支給係	
31	業務・運営	23B12-1	琉大IRダッシュボード	BIツールであるPowerBIを用いて、データを掲載したレポートサイトを学内に公開する。	学内に散在しているデータを一元化し、可視化した分析結果を教職員へ広く共有することが可能となる。	4_実施済		総合企画戦略部経営戦略課 評価・IR係	構築済
32	業務・運営	23B12-2	ニュースレター電子版による広報の推進について	デジタル媒体での広報拡充に向けて、ニュースレターの完全電子版を目指す。	①早期の発刊 ②作成費及び郵送料の削減 ③マンパワーの削減	4_実施済		総務部総務課広報係	2ヶ月程度

令和5年度 RX推進取組一覧

■業務運営No1～ ■教育・学生支援No49～ ■医療No76～ ■研究No112～ ■地域貢献・国際交流No119～ ■取組中止No123～

No	区分	取組ラベルNO	取組名	取組概要	実施効果	進捗状況 (3月確認)	進捗の課題等	実施担当部署名等	DX作業(予定)期間
33	業務・運営	23B12-3	デジタルサイネージによるセンター情報の発信と企業CM等展開	センターで作業を一元管理できるシステムを導入し、全学で複数個所にデジタルサイネージを設け、センター情報発信や企業CM等を全学的に発信する。また、企業からは運営費用をいただき、収入化を目指す。	同システムを組み入れることで、学生に周知する仕組みの多様化とき自己収益化によるキャリア教育支援の充実を期待している。	2_実施中 (進捗50%未満)	仕様書作成段階	学生部学生支援課就職係	1年以上
34	業務・運営	23B12-4	環境コミュニケーション3点セットWeb公開	環境に関する情報について「より分かりやすく関わりが持てそうな形で提供する」ことを目的に、「環境脱出ゲーム」、「クリーン活動みえるかシステム」、「部局別電気量ビジュアルレポート」をエコキャンパスHP上に公開した。		4_実施済	周知や活用はこれからです	施設運営部施設企画課 活用推進係	
35	業務・運営	23B13-1	新聞記事クリッピングの電子媒体での供覧	これまで、紙媒体で学内に配布していた新聞記事クリッピングを電子媒体にて、メールまたはTeams上で共有できるよう沖縄タイムス、琉球新報社との契約内容を変更した。	・ペーパーレス化 ・迅速かつ同時期での新聞記事クリッピング情報の学内での共有 ・法人文書フォルダの保管作業の効率化	4_実施済		総務部総務課広報係	9か月
36	業務・運営	23B2-1	人事給与システム	人事給与システムを活用した人事労務関連業務の効率化を目指し、クラウド化及び人事給与システム以外の人事労務関連システム(勤怠システム等)との連携を視野にシステム更新を検討する。	人給システム以外の人事労務関連システムとのシームレスな連携による業務効率化。サーバー保守管理業務の解消。	3_実施中 (進捗50%以上)	人給システムベンダーとの調整段階で令和7年1月の更新が困難であることが判明したため、令和8年1月の更新へ方針転換した。引き続き、今後導入が見込まれる人事労務関連システムとの連携及びクラウド化を視野にシステム更新を検討する。	総務部職員課給与支給係	1年以上
37	業務・運営	23B2-4	TA・RA及び短期雇用職員の採用申請手続きの電子化	TA・RA及び短期雇用職員の採用申請手続きについて、データ(Excel)による申請へ変更する。	TA・RA及び短期雇用職員の採用申請は添付する書類が少ないため、申請フォームを作成しペーパーレス化する。採用申請内容をデータで受信できるため、人給システム入力時間の削減が図られることが期待できる。	4_実施済	申請をExcelで実施する方法へ変更し、CSV形式で人事給与システムへ取り込めるよう調整した。1月18日に各部局担当者と電子化や申請方法等について意見交換を実施した上で、2月8日付けで実施について全学に通知した。	総務部人事企画課任用係	
38	業務・運営	23B2-5	人事異動通知書、労働条件通知書、雇入れ時の説明書の電子交付	人事異動通知書等について、データ化(PDF化)しを利用して配布する。	現在、紙に印刷し学内便で配付している人事異動通知書等について、データ化(PDF化)することで迅速に配付が可能となる。	4_実施済		総務部人事企画課任用係	
39	業務・運営	23B2-6	勤怠報告業務の効率化	賞与時期・昇給時期・毎月の服務業務に係る勤怠報告(様式)の一本化	部局担当者は、賞与及び昇給時期においてそれぞれの基準期間(6～12ヶ月間)に係る勤務状況報告書を作成しているが、別業務で同じく部局担当者が毎月作成している勤務状況報告書の様式を賞与等の様式と一本化することで、賞与等における部局担当者の勤務状況報告作成業務が削減されるとともに、月々の勤務状況報告を積み重ねることにより給与係における賞与等の時期の集計作業を削減することができる。また、病気休暇等の日数カウントには複雑なルールがあり、勤務状況報告の作成時や確認時においてミスが多くあったが、日数の自動計算に対応した様式を作成することにより、日数カウントの業務自体がなくなり人為的ミスの削減が期待できる。	4_実施済		総務部人事企画課給与係	
40	業務・運営	23B2-7	通勤手当の申請方法見直し	現在紙媒体で行っている通勤手当の申請を電子化する。	紙資源の節減及び申請に係る時間の削減が図られることが期待できる。	3_実施中 (進捗50%以上)	新たな申請方法は試行可能な段階まで来ていたが、申請系の機能を備える新たな人事労務システムの導入が別途検討されており、当該システムの機能の方がより効率化が見込まれること及び短期間の間に申請方法が何度も変わってしまうことによる職員の混乱を避けるため、当該新たなシステムによる申請を用いる方向で検討中。	総務部人事企画課給与係	
41	業務・運営	23B2-8	諸手当現況調査の見直し	諸手当現況調査の根拠となっている諸手当の事後の確認の定めが人事院規則から削除され、その代替措置として年に1回の諸手当届出に関する注意喚起を行う旨の運用方針が新たに定められたことから、当該国の取扱い変更に準じた諸手当現況調査の見直しを行う。	全職員が調査票を修正し給与係へ返す必要がなくなり、部局担当者は調査票提出の確認業務、給与係では全調査票の内容確認作業等の業務軽減が図られる。	4_実施済		総務部人事企画課給与係	
42	業務・運営	23B2-9	就業時間記録システム	これまで紙媒体にて記録されていた出勤簿及び休暇簿について、システムを導入し、就業時間記録の電子化をおこないつつ、勤怠管理業務の効率化を図る。	就業時間記録の電子化による法令順守、勤怠管理業務の効率化	3_実施中 (進捗50%以上)	仕様書の作成	総務部職員課職員係	1年以上
43	業務・運営	23B5-1	DX推進セミナー等の実施	セミナー等を通じて本学のDX推進の意識共有を図る	ITリテラシーを高め学内で意識を共有を図り、一体感を持ったDX推進化につなげる	4_実施済		総務部情報企画課	
44	業務・運営	23B5-2	IT人材育成に向けた研修の実施	基礎的なITリテラシーから高度IT人材育成を目的に研修を実施	Microsoft365の基礎コース、発展コースを開催し、個々の教職員のICT活用能力の底上げを行った。	4_実施済		総務部情報企画課	
45	業務・運営	23B7-1	情報セキュリティの教育	情報セキュリティのセキュリティレベル向上を図るため、e-learningによる研修と、情報セキュリティ監査を実施する。	職員の情報リテラシー向上と、被監査部門の情報セキュリティレベルの向上	4_実施済	本学の全体的な個人の情報セキュリティレベルの底上げとして、研修内容の見直しと研修受講に取り組む強化が必要。	総務部情報企画課 情報セキュリティ係	
46	業務・運営	23B8-1	「情報格付け及び取扱制限の指定並びに明示等に関する基準」の改正並びにsharepointサイトの設置	令和5年10月1日施行の規則に係る教職員向けsharepointサイトを作成した。質問事項はFormsにて受け付け、よくある質問は一覧にして都度更新を行っている。	当係の業務効率化(問合せへの迅速な対応)	4_実施済	本規則の周知を広め、本Sharepointの活用を進めることが必要。	総務部情報企画課 情報セキュリティ係	
47	業務・運営	23B9-1	統合ID管理システム	様々なシステムで使用される利用者ID、パスワード、名前、所属、住所などを一元管理する。	アカウントのライフサイクルに伴う複雑なID管理業務の効率化、経費削減が図られる。	2_実施中 (進捗50%未満)	引き続き仕様書作成を行っています。	情報基盤統括センター	1年6か月
48	業務・運営	23B9-2	役員スケジュールシステム	旧学内広報サーバの運用停止に伴う役員スケジュールシステムのリプレイス。現行システムは構築して10年以上が経過しているため、単純なサーバ移行であっても改修に相当な工数を要することから、現行システムを基とした新規開発又はパッケージシステムを調達する。システム構築は完了し、R5.11.27から運用開始予定。	役員及び教職員の利便性向上、及び情報セキュリティの確保。	4_実施済		学長企画室企画係・秘書係 総務部情報企画課情報推進係	3ヶ月程度
49	教育・学生支援	23E1-10	研修医の自己学習支援のためのE-learningの拡充	研修医にとって経験が必要な領域の、知識、技能を高めるためのE-learning講義や手技動画を作成、UpDateし、いつでもアクセスできるよう専用サイトにUpLoadする。研修医の要望に合わせて、修正、追加を随時行う。	研修医の知識・技能レベルが上がっている。繰り返し過学習できる。学習の進捗状況が確認できる。	4_実施済	教育ツールのアップデート	病院臨床研修センター	随時

令和5年度 RX推進取組一覧

■業務運営No1～ ■教育・学生支援No49～ ■医療No76～ ■研究No112～ ■地域貢献・国際交流No119～ ■取組中止No123～

No	区分	取組ラベルNO	取組名	取組概要	実施効果	進捗状況 (3月確認)	進捗の課題等	実施担当部署名等	DX作業(予定)期間
50	教育・学生支援	23E1-11	動画配信システム	沖縄県の地域団体・企業と連携し、DXコンテンツをオンデマンドで提供することにより、社会人レベルでの人材育成(教職員含む。)を行う。	当該システムの導入により、動画(教育)コンテンツの配信が可能となり、教職員を含めた社会人の学び続ける環境を提供する。	2_実施中 (進捗50%未満)	現在仕様策定委員会にて仕様書(案)について検討中。R6年8月調達、R7年3月導入、稼働を予定している。	総合企画戦略部 地域連携推進課地域連携推進係	R6年2月以降1年2か月程度
51	教育・学生支援	23E1-2	蔵書検索システムの検索データを利用した学修支援	図書館蔵書検索の検索データを活用し、利用者がよく利用する資料や必要とする分野を特定し、図書館の資料選定等の際に有効活用する。	・利用者のニーズに合致した資料を備え、より充実した学修支援が可能となる。	2_実施中 (進捗50%未満)	抽出した検索データの分析方法を検討中である。	附属図書館情報サービス課	2099/03/31
52	教育・学生支援	23E1-5	スマホアプリによる、大学が提供する各種サービス等のワンストップ化	本学構成員向けに、大学が提供する各種情報やサービスの入口となるアプリを開発し、当該アプリから、本学からの各種お知らせ(例:イベント、休講情報)の入手や、図書館サービスを含む各種サービス(例:履修登録、複写申込)を利用できるようにする。	・学生生活を送る上で有用な情報をアプリに集約することで、利用したいサービス毎にシステム等にアクセスし直す必要がなくなる。	4_実施済	2024年4月導入見込みの学生証アプリから、学生生活や図書館サービスに関する情報を入手できるようになる見込みである。	附属図書館情報サービス課	2099/03/31
53	教育・学生支援	23E1-6	VR・ARを活用したアクティブラーニング・エリアの構築	VR・AR会議ツール等により、既存のWeb会議サービスでは十分に取れない非言語コミュニケーション(表情や視線、身振り手振り等)を可能とし、学生が対面と同様に「同じ空間にいる」という臨場感を得ながらグループディスカッション等のアクティブラーニングを行う。	・3Dイメージの共有等の機能を活用することにより、「対面の置き換え」以上の体験を創出することが可能となる。 ・学生が、自宅や教室、図書館ラーニング・コモンズ等、場所に囚われず自由に集まり、アクティブラーニングを行うことが可能となる。 ・図書館ラーニング・コモンズ等(フィジカル空間)で行われているグループディスカッション等に、自宅等からオンライン(サイバー空間)で参加可能となる。(ブレンデッド教育への対応) ・学生のディスカッション等を、自動でテキスト化し、キーワード等の内容を、個人を匿名化した上で、利用者の属性等で解析し、授業を実施する教員と連携することで、学生個人への最適化された教育と学修サポートの提供に寄与することができる。 ・障がい等の理由により、来館が困難な学生に対し、ユニバーサルなアクティブラーニング環境を提供することが可能となる。 ・再びCOVID-19のような状況になった場合でも、密を避け感染防止対策が施されたアクティブラーニングが実施可能な空間を提供できる。	1_未着手	実現できそうなVR・AR会議ツール等について情報を収集中。	附属図書館情報サービス課	2099/03/31
54	教育・学生支援	23E1-7	VRを活用した学修相談窓口の開設	AI・チャットボットでは解決出来ない複雑な学修相談について、アバター等を用いたVR技術を活用した学修相談を実施する。	・AI・チャットボットでは解決出来ない複雑な学修相談について、アバター等を用いたVR技術を活用した学修相談を実施することで、オンラインで対面と同様の感覚の学修相談が可能となる。 ・学修相談をオンラインで実施することにより、学生が登校・来館せずどこからでも可能となる。(ブレンデッド教育への対応) ・障がい等により、来館が困難な学生に対して、ユニバーサルな学修支援環境の提供が可能となる。 ・相談内容を自動でテキスト化し、質問のキーワード等、学生の相談内容を、個人を匿名化した上で利用者の属性等で解析し、授業を実施する教員と連携することで、学生個人への最適化された教育と学修サポートの提供に寄与することができる。	1_未着手	実現できそうなVR・AR会議ツール等について情報を収集中。	附属図書館情報サービス課	2099/03/31
55	教育・学生支援	23E2-1	附属図書館入退館システムのソフトウェア更新	附属図書館の入館資格の管理や入退館の状況をモニタリングするシステムの、基盤ソフトウェアのサポートが2023年10月で終了する。それとともなう基盤ソフトウェアの更新を予定している。	附属図書館における物理的なセキュリティの維持	4_実施済	入退館システムは、学生証のデジタル化プロジェクトにも対応する必要があるため、その対応にあわせてサーバの更新も実施予定(2024年3月までに完了予定)である。入退館システムのネットワークアクセスを制限することで、一定のセキュリティを担保した上で運用している。	附属図書館情報管理課 情報支援係	2ヶ月
56	教育・学生支援	23E2-2	就職支援システムの導入とそれに伴ったHPの改修	現在のHP仕様を持つようなシステム導入を検討しつつ、今後必要となる仕組みを導入する。 ・学生情報管理(卒業後追跡、OBOG連携、学生のニーズに合った情報展開、ポートフォリオシステム等) ・求人情報及び企業からの告知などの適正な管理 ・ガイダンス等の申し込みシステムの構築	現在のHP上で対応できない利便性向上とともに、学生情報も管理することで、現在取り組めていないOBOGとのつながりを維持するとともに、学生の在学中支援の強化と状況把握ができるものと期待している。	2_実施中 (進捗50%未満)	対象システムを調査開始	学生部学生支援課就職係	1年以上
57	教育・学生支援	23E6-1	紙資料のICタグ・リーダーによる資産管理の効率化および資料配置再整備の実現	図書館および研究室等で所蔵する100万冊の資料にICタグを貼付することでICリーダーによる棚卸作業(蔵書点検)を実現し、効率的に資産管理が行えるようにする。	・図書館および研究室等で所蔵する100万冊の資料の棚卸作業(蔵書点検)を、人力による点検からICリーダーによる点検とすることで効率化を図ることができる。 ・教員が研究室で使用している研究室備付図書棚卸作業(蔵書点検)を効率化することにより、教員の事務作業を大幅に軽減して研究に費やす時間を増大させることが期待できる。 ・ICタグにより、貸出以外の利用(閲覧等)動向を把握することで、資料の利用に応じた資料配置(使われる資料は開架書架に、必要だが使われない資料は集密書架に、使われず内容が陳腐化した資料は除却)が可能となり、限られた配架スペースのより有効な活用が可能となる。	1_未着手	ICタグについての情報を収集して導入の検討中。	附属図書館情報サービス課 資料サービス係	2099/03/31
58	教育・学生支援	23E6-10	卒業判定システムのシステム化	これまでは紙媒体の資料から卒業要件の単位数等をチェックした後、卒業判定の結果を出していたが、システム化により必要項目を入力することで卒業判定の結果が出るかたちとした。	業務の効率化	4_実施済	特になし	国際地域創造学部学務係	1ヶ月程度
59	教育・学生支援	23E6-11	学生の定期健康診断の間診票のWeb化(Web問診)	学生の定期健康診断の間診票は、以前紙媒体で記入を依頼し受付していたが、令和2年度からOffice365の「Forms」を活用することで、Web上で間診票の入力及び収集、データ管理が行えるようになった。	学生の利便性向上、ペーパーレス化及び業務効率化	4_実施済		保健管理センター 学生部学生支援課学生係	
60	教育・学生支援	23E6-12	職業紹介業務に要する書類の提出方法のデジタル化について	求人票に付随する必須書類の紙提出をWEB提出可能となるようにHP改修、また、紙媒体提出を減少させるため、企業等への周知実施		3_実施中 (進捗50%以上)	企業の理解と周知方法に期間を有する	学生部学生支援課就職係	6か月
61	教育・学生支援	23E6-14	センター訪問学生への案内効率化と学生の情報収集のためのアプリ開発	MicrosoftPowerAppsを活用し、レストランのメニュー表のようなHPとは異なる直感的な情報収集及び、職員が案内する際の説明補助又は、削減を目的として開発		4_実施済		学生部学生支援課就職係	

令和5年度 RX推進取組一覧

■業務運営No1～ ■教育・学生支援No49～ ■医療No76～ ■研究No112～ ■地域貢献・国際交流No119～ ■取組中止No123～

No	区分	取組ラベルNO	取組名	取組概要	実施効果	進捗状況 (3月確認)	進捗の課題等	実施担当部署名等	DX作業(予定) 期間
62	教育・学生支援	23E6-15	企業面談の予約システム構築	企業面談microsoftbookingsを活用した予約システム構築	職員の電話対応及び、企業との調整業務を軽減することができた	4_実施済		学生部学生支援課就職係	1か月
63	教育・学生支援	23E6-16	就職活動報告書及びインターンシップ報告書のオンライン申請	ペーパーで提出させていた就職活動報告書のオンライン申請をHP改修により実施し、提出及び閲覧をWEB上で行えるように実施した。	職員のファイリング作業や管理等の対応が省略でき、かつ、学生の利便性向上となった	4_実施済		学生部学生支援課就職係	1年
64	教育・学生支援	23E6-17	データサイエンティスト養成履修カリキュラム修了証に代わるオープンバッジ(電子証明書)発行	これまで紙で発行していた修了証に代わり、オープンバッジ(電子証明書)の発行を開始した。	業務の簡素化・効率化、学生の利便性向上	4_実施済	現在は国際地域創学部学生のみの発行対象となっているが、今後他学部にも修了者が出た場合に様々な課題が生じる可能性がある。	数理・データサイエンス・AI教育推進室	約2か月間
65	教育・学生支援	23E6-2	成績開示システム	希望者に対して、入学選抜の成績を開示する。	開示期間中は何度でも成績を確認することが可能となり、利用者の利便性が向上した。また、WEB出願システムの一部でもあるため、郵送と異なり、送付ミスの可能性がなくなった。また、担当者の確認作業業務の軽減に繋がった。	4_実施済		学生部入試課 学部入試第一係	3ヶ月程度
66	教育・学生支援	23E6-3	入試管理システム	志願者情報、成績情報等をシステムで一元管理化し、合否判定資料及び合格通知書をシステムで出力する。	各種帳票のシステム出力により、業務を効率化	4_実施済		学生部入試課 学部入試第一係	不明
67	教育・学生支援	23E6-4	Teamsを活用した大学入学共通テスト監督者説明会	Teamsを活用して大学入学共通テスト監督者説明会をWEB会議形式で開催する	上原キャンパスへの移動の必要がなくなったことによる効率化 アーカイブ化により、説明会に参加できない監督者が後日、説明会を視聴することが可能となった。	4_実施済		学生部入試課 学部入試第二係	2ヶ月程度
68	教育・学生支援	23E6-5	zoom及びTeamsを活用した説明会・相談会、学外会議	Zoomを活用したWEB入試説明会、個別相談会 Teamsを活用した学外委員も含めたWEB会議	県外からの参加がしやすくなった。 チャット機能を活用することで、匿名での質問が可能となり、参加者から好評を得た。	4_実施済		学部入試第二係、学務係	1ヶ月程度
69	教育・学生支援	23E6-6	所属学生の欠席情報の管理システムの改善		教員間での学生指導情報の把握性の向上		学生の欠席情報(必修科目)の共有システムについて、全登録情報の表示が機械系2コースが混在していた形となっていたため、より見やすくなるよう表示の改善を行った。	エネルギー環境工学コース・工学部工学科機械工学コース	
70	教育・学生支援	23E6-7	Formsを利用した授業評価アンケート結果に対する報告	授業評価アンケート結果に対する報告書について、従来指定様式を提出してもらっていたが、Formsを利用しURLへアクセス・入力して報告できるように変更した。	・メールで受け渡す必要がないので、教員・事務側ともに手間がかからない。・集計作業作業が容易。	4_実施済		学務係	
71	教育・学生支援	23E6-8	学生団体設立届の電子申請化	課外活動団体の新規設立や継続申請などは、これまで紙媒体で申請を受付していたが、「Forms」を活用し、学生団体設立届(新規・変更・継続)の電子申請化を推進する。	ペーパーレス化及び業務効率化	4_実施済		学生部学生支援課学生係	1ヶ月程度
72	教育・学生支援	23E6-9	学生の定期健康診断の予約システム改善	学生の定期健康診断の予約システムは、理工学研究科大学院生が構築及び保守管理し運用していた予約システムを利用していたが、令和5年度からOffice365の「Microsoft Bookings」を活用し、予約システムを新たに構築した。	学生の利便性向上及び業務効率化	4_実施済		保健管理センター・学生係	
73	教育・学生支援	23E7-1	学生証アプリシステムの導入	これまで学生証は磁気カードで配布されていたが、今後は「学生証アプリ」として各学生が自分の携帯電話やスマートフォンにダウンロードして使えるようにする。このアプリでは、大学からの重要な通知を効果的に知らせるために、プッシュ通知を送ることができる見込みである。	・学生の利便性向上・学生へ緊急通知・業務の効率化	4_実施済	2024年7月プッシュ通知機能追加予定、2024年10月図書館の入退館で使用開始予定。課題は次年度以降はアプリのみにするのか、アプリのみにした場合の運用・規則改正等、学外への通知をどのようにするかを検討する必要がある。	学生部教育支援課教務係	1年6か月
74	教育・学生支援	23E8-1	コンピュータゲーム(ゲームアプリ)を活用した大学(部局)ツアー	新入生や本学を受験する高校生に対し、ゲームを通して事前に大学内を案内する。	本学構成員だけでなく、地域住民や本学受験希望者等が、キャンパス外からも動画を通して附属図書館の基本的な利用方法等を知ることができる。	4_実施済	附属図書館YouTubeチャンネルにおいて、図書館の各フロアの利用方法をコンパクトにまとめたショート動画や初めて附属図書館を利用する学生を主たる対象に、附属図書館の基本的な利用方法を紹介する動画を作成・配信している。	附属図書館、入試課、総務課	2099/03/31
75	教育・学生支援	23E9-1	Teamsを活用した学務係との各種資料共有・連絡調整	Teamsを活用して、入試関連の各種資料を共有する。 Teamsを活用して、入試関連の連絡調整を行う。	メール等での連絡では、各係のメールに埋もれることがあったが、入試関連の投稿に限定されて表示されるため、確認漏れ等がなくなった。ファイル共有・管理がしやすくなった。	4_実施済		全職員、学務係	1ヶ月程度
76	医療	23M10-1	新キャンパスと新病院の電子カルテ内外ネットワーク機器を共同利用する形で調達する	Teamsのチームを作って関係部署と情報共有しながら、議論等を行っています。	情報の一元管理、連絡等の効率化	4_実施済		医事課情報管理係 診療情報管理センター	
77	医療	23M10-2	新病院は高度急病救急センターを目指しており、700メートルしか離れていない沖縄海軍病院と月1回の頻度で会議と災害訓練時の見学や情報共有のシミュレーションを行っています。屋上のヘリポートと平面駐車場にある大型ヘリポートを活用して広大な敷地を災害時のトリアージセンターという提案もあり、海軍病院と安定した協力の合意を交わすことを目指している。ICT導入の検討は立体駐車場にSINネット以外のバックアップ回線と無線アクセスポイントを新病院のネットワークに入れる入る予定です。			3_実施中 (進捗50%以上)	両病院の合意を交わす直前に海軍病院の司令官(病院長相当)が異動するため、合意がリセットされますが、引き続き連絡しあって、また近々定期会議を開催する予定です。	病院 国際支援室	1年
78	医療	23M10-3	ランサムウェア等サイバーセキュリティーの対応を講じる病院情報システムの導入	現在意見招請中の新病院情報システムに有力2社からランサムウェア対策として、Veemsが提案されました。振る舞い検知のEDRは交渉中で、NDRは別調達のネットワークの仕様に入れる予定です。	情報セキュリティの強化、BCP	4_実施済		管理課、診療情報管理センター、医事課 情報管理係	

令和5年度 RX推進取組一覧

■業務運営No1～ ■教育・学生支援No49～ ■医療No76～ ■研究No112～ ■地域貢献・国際交流No119～ ■取組中止No123～

No	区分	取組ラベルNO	取組名	取組概要	実施効果	進捗状況 (3月確認)	進捗の課題等	実施担当部署名等	DX作業(予定) 期間
79	医療	23M11-2	看護サマリ作成漏れ督促	看護サマリ未記載患者を電子カルテ上から手作業で抽出し、毎日メール作成して送信するなど、時間や労力を要していた。これら全業務を全て【RPA】でロボット化して、職員の負担軽減と多職種連携の向上に繋がった。	督促業務の負担ゼロ/多職種連携の向上	4_実施済	運用フローに合わせていく必要があるが、柔軟に対応できる。	上原キャンパス事務部 医事課情報管理係	2ヶ月
80	医療	23M11-3	来院患者一覧表の自動作成	毎日、連携室職員が手動で帳票を印刷して各部署に配付している作業をロボット化して、毎日定刻時間に帳票を自動PDF化、配付を止めてポータルサイトに登録を行う。休日は職員不在のため、休み明けに休日分の印刷を行うなど、負担になっていた。	業務負担の軽減/365日24時間対応	4_実施済	運用フローに合わせていく必要があるが、柔軟に対応できる。	上原キャンパス事務部 医事課情報管理係	1ヵ月
81	医療	23M11-4	DPCコーディング状況の自動出力	経営改善WGでの検討事項としてあげられた、DPCコーディングの最適化(Ⅱ超え、Ⅲ超えの患者のコーディング見直し)のため、WindowsバッチファイルとMSAccessでツールを作成し、Windowsタスクスケジューラで15分置きに最新のDPC入院患者一覧情報とDPCコーディングエラー結果を自動出力するようにした。	DPCシステムの起動や、手動によるエラーチェック実行操作をする事なく、ほぼリアルタイムでDPCの情報を閲覧でき、より適切なDPCコーディングの補助が可能となった。	4_実施済		上原キャンパス事務部 医事課情報管理係	1週間
82	医療	23M11-5	BIツールを用いた「摂食機能療法の算定状況(必要記載確認、算定もれ等)」の確認	摂食機能療法の算定には、「医師の指示」、「30分以上の介入時間・介入内容根拠記録」、「処置オーダー」が必要である。これらチェックは、摂食嚥下チーム看護師が担っていたが、手作業での監査作業となり、時間外労働や、チーム活動にも支障をきたしていた。そこでBIツール(Spotfire)を活用し、必要記録を一覧で確認することで監査効率を目指した。また、実際にケアを行う看護師も同画面で一覧を確認できることで、記録もれの防止や必要患者へのケアが確実に実施されることを期待している。	監査作業の効率化、各病棟の摂食嚥下リンクナースの課題明確化につながっている。算定取得率の改善等は今後期待しているところである。	4_実施済		看護部医療情報担当師長	1ヶ月
83	医療	23M11-6	BIツールを用いた施設基準遵守事項の自動集計化	現在、施設基準届出上の遵守事項(平均在院日数、GAF尺度、在宅復帰率、向精神薬多剤投与等)について、担当者にて紙媒体及び手作業にて集計・確認を行っているが、業務が煩雑なうえに、確認事項が多いため、見落としや係数誤り等のミスも発生し易い。当該遵守事項は毎月実施するルーチン業務であるため、担当者の業務負担も軽くない。本件について、システム管理室担当者と協働し、電子カルテのBIツールを用いた自動集計化へ移行するよう対応中である。	自動集計による業務の効率化、簡素化に加え、転記ミスといった人為的なミスの軽減に繋がる。	3_実施中 (進捗50%以上)	内容が複雑で作業が難航している/(3月進捗)平均在院日数の一部及び、向精神薬他剤投与の自動化に難航している。他の集計については実運用に至っている。	上原キャンパス事務部 医事課情報管理係	6ヵ月
84	医療	23M11-7	レセプトCTRデータ作成・削除の自動化	毎月、病院収入となる診療報酬請求を行うために請求用のレセプト関連表群データ(CTR:a Collection of Tables for Receipts)の作成を手作業によるシステム操作で行っている。その作業には、1台の電子カルテを使った場合、平均16000件/月のデータ作成に8時間以上要する。本作業をひと月に3回行う必要があるため、長勤を避けられない状況である。これまでの自動化処理の実績により本作業の自動化を要望を受け、取組みを行う。	本作業に係る要員を不要とし、超勤の減少に効果が期待できる。	4_実施済	日付を跨る自動処理のため、終了処理が正常に行えない。	上原キャンパス事務部医事課 入院診療報酬係、診療報酬係、情報管理係	2ヶ月
85	医療	23M11-8	平時・災害時患者連絡先一覧の自動作成	平時にシステム障害が発生する場合、患者の連絡先がアクセスできませんので、災害時と同様に自動的に1時間おきに入院患者の連絡先(本人、キーパーソン1、キーパーソン2)を病院サーバ室のラック内にロックされているスタンドアロンで使えるノートパソコン3台に転送する。それから、電子カルテの遠隔バックアップ用のひが東日本データセンターにも転送する	従来電子カルテベンダーの提案は、毎日患者情報を自動的に印刷して各病棟で管理することですが、個人情報漏れのおそれと紙の無駄使いになると破棄の手間がかかりましたので、国立大学バックアップシステムのリソースを活用しました。	4_実施済		診療情報管理センター	1週間
86	医療	23M11-9	当直表の周知の自動化	現在、当直表は総務課労務係からメールで看護部管理室にPDFで送信され、紙に印刷して各病棟等に配布しています。PDFの元はExcelファイルで学内サイトにアップロードしてもらって、自動的に電子カルテのネットワークに転送し、加工した当直表を電子カルテ内のFAQ等に公開します。		2_実施中 (進捗50%未満)	各診療科の担当者にOffice365を配布して編集してもらおうにしたいのですが、総務課による周知用のアカウントの配布がなかなか進まないため、進めなかった。	診療情報管理センター	
87	医療	23M12-1	摂食嚥下スクリーニング評価もとにしたリスク判定とハイリスク患者のリストアップ	BIツールを活用し、摂食嚥下スクリーニング評価もとにしたリスク判定とハイリスク患者のリストアップできるツールを作成に取り組んだ。	BIツールの導入で摂食嚥下ハイリスク困難者のリストアップができ、誤嚥・窒息予防の介入がしやすくなった。また、電子カルテから一人ひとり確認していたものが、BIツールを活用することで大幅な業務改善に繋がった。	4_実施済		看護部医療情報担当看護師長	調整機関も含め6ヵ月
88	医療	23M12-2	看護診断評価状況の可視化	看護ケアの展開には、看護診断シケア計画立案が必要である。個別性看護の提供のためにも受持ち看護師による、診断・計画の定期的評価(1回/週)を取り決めているが、診断評価の遅れや未実施がみられていた。患者カルテを一つ一つ確認するため、時間を要し監査結果のフィードバックへも時間を要していたため、BIツールを活用し看護診断評価の状況が可視化できるツールを作成した。	BIツールの導入で大幅な記録監査時間の短縮に繋がった。看護診断の評価状況がタイムリーに確認できるため、記録漏れの減少につながる。	4_実施済		病院看護部 医療情報担当看護師長	1ヶ月
89	医療	23M12-3	電子カルテ内RedCapを導入し、研究データの収集を効率化する	従来の研究データの取得は、システム管理室からデータ抽出を依頼するか、電子カルテを見ながら、電子カルテネットワーク外の端末に症例データを入力する運用になっており、電子カルテ内に研究データ収集とアンケート調査ができるRedCapの導入によって、電子カルテからコピー&ペーストで症例データの転記ができるのと、取得したいデータのフォーマットに合わせて入力テンプレートの自動や半自動のデータ転送も可能となります。	データ収集の効率化と入力ミスを防げる。	4_実施済	試験運用サーバは稼働中ですが、本番サーバはハードウェアの購入手続きを行っている。	診療情報管理センター	
90	医療	23M12-4	2023年10月2日刷新された職員録の自動的に電子カルテ内で提供する仕組みの改修	電子カルテの端末は学内広報をアクセスできないため、Power Automateで一時間おきに職員録を自動ダウンロードして、電子カルテのデータベースとBIツールに加工して、FAQに公開します。	電子カルテ内職員録がなかったため、一々交換室に内線番号を聞くことが多かったため、患者さんからも代表番号に繋がりにくいクレームがよくありました。電子カルテのFAQに提供する予定によって交換室の負担が軽減できると職員が連絡先をすぐ調べられる時間の短縮にも繋がりました。閲覧回数は2万回を超えたため、付随的にほかのFAQも見てくれるようになりました。	4_実施済		診療情報管理センター	1週間
91	医療	23M12-5	トライケアへの診療情報提供	米軍トライケアの委託業者International SOS社の沖縄担当(医師1名、看護師2名)に病院VPN(認証+ホワイトリスト)に接続してもらって、週2回3時間ほど接続する該当する兵隊さんとその家族の診療情報(PDF)のみを提供するサイトから、パスワード付きのZIPファイルをダウンロードしてもらって仕組みを構築した。(個人情報保護に関する誓約書を締結済み)	従来、手作業で診療情報を紙で印刷して、International SOS社の担当者に来院してもらうことを自動化によって不要になります。目録でPDFのページ数のカウントも自動的にできるため、数える手間も省けられる。利用者側からもいい評価をもらった。2023/11/28時点述べ6患者288ページのPDFを提供した。	4_実施済		上原キャンパス事務部 医事課情報管理係	1週間

令和5年度 RX推進取組一覧

■業務運営No1～ ■教育・学生支援No49～ ■医療No76～ ■研究No112～ ■地域貢献・国際交流No119～ ■取組中止No123～

No	区分	取組ラベルNO	取組名	取組概要	実施効果	進捗状況 (3月確認)	進捗の課題等	実施担当部署名等	DX作業(予定)期間
92	医療	23M13-1	病院の広報の推進(台風時等の情報発信)	台風時等の休診情報について速やかに発信するため、院内担当者間の連絡体制・手段を整備した。①休診有無の決定(台風対策連絡会(病院長ほか))②病院ホームページを編集(総務課)③HP編集完了と同時に、SNS更新担当者へメール通知(自動送信)また、HP編集完了と同時に、英語HP担当者へチャット通知(自動送信)④メール通知等を確認し、SNS/英語HPへ休診情報を投稿/掲載(企画課/地域・国際医療部)※従来のSNS(Facebook、X)に加え、2023年10月よりLINEアカウントも開設した。今後はSNS活用について周知に取組み、より多くのユーザーへの情報発信を図る。	SNSの活用により、患者の皆様へより早く休診情報を発信することができるようになった。	4_実施済		上原キャンパス事務部企画課企画係	
93	医療	23M14-1	病院HP更新依頼(チーム)の活用	病院HPの更新(特に診療科(部)の異動)が遅いため、関連部署(企画課、総務課、医事課、診療方法管理センター、国際医療支援室)が更新していない箇所を発見した場合、連絡しあい速やかに更新する取組	広報委員会の決裁の短縮や省略で常に最新と正しい情報の提供ができる	4_実施済		上原キャンパス事務部企画課企画係	
94	医療	23M14-2	電子カルテのFAQに「外国人患者受入」の意見箱を設置	JMIP 認証を取得するため、それから、病院現場のスタッフから意見を反映できるようにするため、電子カルテのFAQにRedCapのアンケートのリンクを貼って意見箱を実装する。定期的に電子カルテのメールで意見箱のアナウンスをする	JMIP 認証を取得するため、それから、病院現場のスタッフから意見を反映できるようにすることで、現場が抱えている課題等を把握し、一緒に対応できるようになりました。	4_実施済		国際医療支援室	
95	医療	23M2-1	専任医師による医師事務補助者の教育および管理	医師の働き改革に関して医師事務補助者は非常に重要な役割があり、現在20:1の体制を15:1に増員することを計画している。医師事務補助者の所要研修も非常に負担になるため、研修のデジタル化をおこなう。最終的に専任医師による教育および管理をする医師事務支援センターの設立を提言します。	集中管理による効率の向上、増員による加算の増収	4_実施済	組織改編に関わる大きい課題なので、提言に留まった。	診療情報管理センター	1年
96	医療	23M3-1	ネットワークの共同調達に伴い、西普天間キャンパスの共同管理帯体の設立に関する提言	現在西普天間キャンパスのネットワークの共同調達を行っており、共同管理帯がない場合、規定・規約に基づく増員や併任による管理体制は作れません。基本構想から今後管理する医療情報部と診療情報管理センターから共同管理帯の設立を上位委員会と大学本部に要望します。	責務が明確になり、キャンパス内のリソースが共有できます。	3_実施中 (進捗50%以上)	2023/12/4に「情報基盤統括センター支部」	移転ネットワークワーキング	1年
97	医療	23M4-1	国際医療支援室の医療通訳者の増員および、教員増員の検討	新病院移転の基本構想や基本計画に国際診療センターの設立があげられています。そのセンターを実現するため、専任医療通訳者(英語)を新規採用しました。今後学術的な研究や職員の通訳関連の教育に助教相当の教員が望ましいため、関連学会や国立大学病院会議にも情報収集や打診を行っております。	より国際健康医療拠点にふさわしい病院になる	2_実施中 (進捗50%未満)		国際医療支援室	1年
98	医療	23M6-1	外来化学療法室予約状況の把握	経営改善WGでの検討事項として掲げられた「外来化学療法室の効率的な利用」について、予約の空き状況を把握する事で改善が見込まれるという事になった。移転後には外来化学療法室の増床も検討しているため、継続して活用ができる。BIツール(Spotfire)を使用して、予約の空き状況を見える化する事を検討する。	外来化学療法室のより効率的な利用	4_実施済		上原キャンパス事務部 医事課情報管理係	1週間
99	医療	23M6-10	病院情報システム(基幹および部門システム)および病院ホームページサーバの一元管理	病院情報システムは新病院のシステム調達に向けて、主ベンダーの基幹システム(オーダーエントリー、電子カルテ、看護支援、医事会計)と主ベンダー調達の計29の部門システム、さらに病院調達の19部門システムを診療情報管理センターの配下に一元管理しました。新病院はさらに追加で13システムを調達する予定で、全体は診療情報管理センターの管轄で計33ワーキンググループで役割分担をしています。現在意見招請の最中です。	新病院の各システムのリソースの共有、IT-BCPの強化	4_実施済		診療情報管理センター 各ワーキンググループの長	2年
100	医療	23M6-2	せん妄ハイリスク患者ケア加算の算定漏れチェック	経営改善WGの検討項目一覧として掲げている、せん妄ハイリスク患者ケア加算の算定率向上のため、加算取得対象の患者を漏れなく算定する必要がある。現状、アセスメントを実施して加算取得対象となる患者でも、オーダ漏れが原因で算定できていない患者がいる。アセスメントとオーダは別システムで実施するため、目視で対象患者を把握する事が難しいため、BIツール(Spotfire)を使用して対象患者のリストアップの自動化と、見える化を行った。	対象患者のリストアップ。算定漏れ患者に対するオーダ実施の促しはこれから実施予定。	4_実施済		上原キャンパス事務部 医事課情報管理係	1週間
101	医療	23M6-3	外来患者の待ち時間調査	医師の働き方改革・光熱費削減に伴い、外来患者の動向や診察時間の状況をチェックするために電子カルテから指示データを抽出し、【BIツール(QlikView)】を使用して可視化した。これにより、各システムを横断的に見る事なく、時系列や詳細を正確に把握できるようになった。集計を自動化する事により、外来フローの問題や課題も浮き彫りになり、様々なアプローチを検討する事ができた。新病院での患者サービス向上や医師の業務負担を軽減するため、取り組んでいく。	集計作業の業務軽減/患者サービスの向上/医師負担軽減の基礎資料	4_実施済	運用フローに合わせて指標を合わせていく必要が、柔軟に対応できる。	上原キャンパス事務部 医事課情報管理係	1ヶ月
102	医療	23M6-4	緩和ケアのつらさアセスメント集計の最適化	治療継続中患者の緩和ケアを評価する指標として、電子カルテや部門システムからデータを収集し、Excel等で独自で集計を行っていた。これらデータ収集や業務を全て廃止して、アセスメントを標準化したテンプレートシステムを作成。電子カルテから指示データを抽出し、BIツール(QlikView)を利用して可視化した	各システムを横断的に見る事なく、見読性が向上し、正確に確認できるようになった。身体的問題や精神的問題が早期に発見する事ができ、的確なアセスメントと対処(治療・処置)を行う事により、QOL改善のアプローチに繋がった。	4_実施済	運用フローや医学的根拠に合わせて、指標を合わせていく必要があるが柔軟に対応できる。	上原キャンパス事務部 医事課情報管理係	1ヶ月
103	医療	23M6-5	外来予約/入院支援活動のデータ集計支援	入院支援活動の一環として、入院準備室の患者対応件数を把握するためにテンプレートを作成。電子カルテから指示データを抽出し、【BIツール(QlikView)】を使用して可視化した。これにより、各システムを横断的に見る事なく、見読性が向上し、集計を自動化した。グラフ化する事により、当院の予約状況や傾向を一目で把握する事ができ、入院支援へのアプローチに繋がった。	集計作業の業務軽減/QC改善	4_実施済	運用フローに合わせて指標を合わせていく必要があるが、柔軟に対応できる。	上原キャンパス事務部 医事課情報管理係	1ヶ月
104	医療	23M6-6	入院決定説明のアセスメント最適化	入院支援活動の一環として、入院準備室の患者対応件数を把握するためにテンプレートを作成。電子カルテから指示データを抽出し、【BIツール(QlikView)】を使用して可視化した。これにより、各システムを横断的に見る事なく、簡単に確認できるようになり、集計を自動化した。これにより、QOL改善へのアプローチに繋がった。	集計作業の業務軽減/QC改善	4_実施済	運用フローに合わせて指標を合わせていく必要が、柔軟に対応できる。	上原キャンパス事務部 医事課情報管理係	1ヶ月
105	医療	23M6-7	入院前説明のアセスメント最適化	入院支援活動の一環として、入院準備室の患者対応件数を把握するためにテンプレートを作成。電子カルテから指示データを抽出し、【BIツール(QlikView)】を使用して可視化した。これにより、各システムを横断的に見る事なく、簡単に確認できるようになり、集計を自動化した。	集計作業の業務軽減/QC改善	4_実施済	運用フローに合わせて指標を合わせていく必要が、柔軟に対応できる。	上原キャンパス事務部 医事課情報管理係	1ヶ月

令和5年度 RX推進取組一覧

■業務運営No1~ ■教育・学生支援No49~ ■医療No76~ ■研究No112~ ■地域貢献・国際交流No119~ ■取組中止No123~

No	区分	取組ラベルNO	取組名	取組概要	実施効果	進捗状況 (3月確認)	進捗の課題等	実施担当部署名等	DX作業(予定)期間
106	医療	23M6-8	入院患者の嚥下機能評価支援	嚥下機能低下の高齢者患者に対して、部門システムやExcelを使用して 窒息予防に向けて、データ集計や分析業務を行っていた。これらデータを利用して、患者に介入するが、データ集計に時間がかかる。標準化されていない、情報共有できない等、様々な課題があった。 これらを標準化するためにテンプレートシステムを作成し、データ集計を自動化した。また、データを【BIツール (Qlikview) 】により可視化する事で、分析や評価が可能となった。データを活用する事により、入院患者に安全な食事を提供する事ででき、窒息やつまらしの予防に繋がり、医療事故の軽減に繋がった。この取組みは各所属や学会等で発表し、琉大のみならず、全国に取り組みを発信している。	集計作業の業務軽減/QOL改善へのアプローチ/医療事故防止対策	4_実施済	運用フローに合わせて指標を合わせていく必要が、柔軟に対応できる。	上原キャンパス事務部 医事課情報管理係	1ヶ月
107	医療	23M6-9	栄養指導の実施漏れ確認	栄養指導指示に対して、実施漏れ等チェックするための方法が無く、電子カルテから指示データを1件1件探していた。これらをデータベースから抽出し、【BIツール (QlikView) 】を使用して可視化した。これにより、各システムを横断的に見る事なく、簡単に確認できるようになり、集計を自動化した。これにより、栄養指導の実施漏れ抑制に繋がり、患者への適切な介入と算定率向上に繋がった。	集計作業の業務解放/QOL改善へのアプローチ/医業収入の向上	4_実施済	運用フローに合わせていく必要があるが、柔軟に対応できる。	上原キャンパス事務部 医事課情報管理係	1ヶ月
108	医療	23M8-1	診療データの可視化による外国人患者に関する対応の課題検討および運用の見直し	2019年8月頃以来、請求書と医療通訳ツールの管理台帳や職員のアンケートを可視化にして、国際医療支援室の支援業務の運用の参考にしてきました。医療の室向上推進室のデータ活用分析の分析を流用して患者の国籍を付与することで、日本人と外国人やアメリカ人とそれ以外の外国人の受診診療科の特徴を洗い出しました。	外国人患者の言語対応の課題を解決、さらにトラブルの予防につながる、医療通訳ツールや医療文書のコストパフォーマンスをあげる	4_実施済	一部英文の同意書様式があるのに和文の同意書様式が使われたり、英語以外の希少言語の患者に対して、英文しかない同意書が使われたりすることも明らかになりました。今後は外来や入院の予約情報から来院する予定の患者の国籍情報を可視化にして、関連する職員に提供することで医療通訳ツールの利用推進や、適切な言語の医療文書を使用促進をよりポイントで行う取組を進めます。	国際医療支援室	6ヶ月
109	医療	23M9-1	技術職員、技術補佐員のリスキリング	OJTで技術職員と技術補佐員へのネットワークやコマンドベース (Windows,Mac,Linux等) のサーバの管理、SQL、Python、Javascript、IronPython等の高度なBIの使い方を教育する	多プラットフォーム、多開発言語対応できる人材の育成、ノウハウの伝達、蓄積、できる人の負荷分散、BCP	4_実施済	終わりのない取り組みなので、継続	診療情報管理センター	新しい発見があれば、都度
110	医療	23M9-2	実データを用いた医療職にExcelのパワークエリ、パワーピボットの研修会	看護部、医事課、感染対策室、医療安全対策室等の職員に数回のExcel研修を行いました。	医療職の職員のデジタル化の発想の形成、簡単なデータ集計が自分ができる	4_実施済	12/5-6 演習 1は2回、演習 2は1回実施しました。今後必要に応じて開催する。最終開催回数と参加者数は年度末に記載する予定です。	診療情報管理センター	
111	医療	23M9-3	REDCapデータベース作成power query活用/スワウ開催	文部科学省「医師の働き方改革に伴う大病院緊急パッケージ」の申請に関連する「大病院改革プラン」の一環として、医師の研究支援を行い、継続させるため、RedCapという世界145カ国、5900施設、2100万ユーザと19000本論文が利用した研究データ管理ツールと、データ処理をするExcel Power Queryを最初2回ずつハンズオンを実施して、今後継続的に開催するのと、電子カルテからデータ取得等のサポートも行う	電子カルテ内のRedCapによって各診療科が管理する診療情報のセキュリティを確保しながら、電子カルテとインターネット端末間の2画面非効率な入力を省き、電子カルテからのコピペやデータの自動参照テンプレート入力によってデータの取得をサポートする。さらにデータを管理しやすい形にするため、Power Queryも習得してもらう。	4_実施済	病院_臨床研究教育管理センター 病院_診療情報管理センター		
112	研究	23R1-1	オープンサイエンスに対応した学内研究環境の構築及び本学固有の研究成果、教育コンテンツの発信支援	政策的にも各大学への対応が求められているオープンサイエンスについて、学内関係部署との共同のもと、対応を進める。著作権やライセンスの検討とともに、本学固有の研究成果、教育コンテンツの発信支援を行う。	・本学におけるオープンサイエンスの推進。	2_実施中 (進捗50%未満)	研究RX担当教員を含め関係者での情報交換を行っている。また、研究データ管理の前提となる研究データポリシー策定に向けて、研究推進課と調整を行っている。	附属図書館情報管理課 情報支援係	2099/03/31
113	医療	23R1-2	研究等を支援するための没入型BIサーバ構築 (Spotfire ver. 12.0.2.42 on Debian 11)	従来の業務を中心に使用するWindowsサーバ上のSpotfireサーバとは違って、従来の標準搭載の開発言語は、Iron Pythonと高速R言語、HTMLに加え、Javascript (可視化) とPython (データ関数として) が使えるようになりました。それから、従来の提供されているビジュアライゼーションしか使えなかったが、ダウンロードや開発可能なMODを入れることで拡充できるようになった。これらの機能とPythonのライブラリー追加によって、診察記事を直接データベースから取得して、追加したJANOMEで形態素分析をしたものをワードクラウドというMOD (頻度によって文字サイズが変わる) で表示させることが別のツールに依存せず一連でできるようになった。それから、IronPythonによって、データベースへの新規追加、変更、削除等の機能をWebベース (Webアプリ) で実装することも検証した。	データの取得、処理、格納、介入の追記、分析した可視化や情報の自動提供や診療業務システムへの書き戻しを一つのサーバに集約するため、効率よくなる。それから、すべての履歴が追跡でき、仕組みの稼働やデータの変動が監視できる	4_実施済	診療情報管理センター	1年	
114	研究	23R1-3	本学教職員の有する業績等に関する情報の集約【研究者データベースシステム】	本学に所属する役員及び教職員の有する業績等に関する情報を研究者データベースシステムに集約している。	本データベースシステムに集約されたデータを公開・管理することで、広く研究成果の情報発信を行うとともに、本学に義務付けられている情報公開、運営費交付金の配分関連事項、教員業績評価、国立大学法人の評価、各種調査等に利活用している。	4_実施済	実施済	総合企画戦略部 研究推進課研究支援係	
115	研究	23R4-1	共同研究・受託研究推進のために行う公募事業でのForms利用	昨年まで申請書はメールにて提出していたが、R5年度からFormsへの提出に変更。	formsへの提出に統一したことで、確認作業に要する労力の削減、集計漏れが防げた。	4_実施済		総合企画戦略部 研究推進課 産学連携推進係	5月
116	研究	23R4-2	利益相反定期自己申告の電子化	従来、メールや紙ベース等で行ってきた利益相反に係る定期自己申告を、R5年度よりFormsを利用して申告できるようにした。	電子化により、申告者及び事務担当者の作業効率の向上を図ると共に、取り纏め、確認作業をより適切に行えることから、利益相反のより適切な管理に繋げる。	4_実施済	令和6年度以降、14のシステムに組込予定。	総合企画戦略部 研究推進課研究支援係	
117	研究	23R4-3	研究インテグリティやリスクマネジメントにかかる書類作成等の電子化	現在、紙ベースで実施している研究インテグリティやリスクマネジメントに係る手続きについて、同一システム内での手続きを可能とするシステムの構築を予定している。RX推進室、URAと連携し、次年度中に一部運用開始予定として調整を行っている。	電子化により、申告者及び事務担当者の作業効率の向上を図り適切な管理に繋げる。	2_実施中 (進捗50%未満)	システム構築の外注について、RX推進室及び総合技術部と連携し、仕様等について検討が進められていることとしている。	総合企画戦略部 研究推進課研究支援係	
118	研究	23R4-4	倫理審査申請システム(仮称)	「人を対象とする生命科学・医学系研究」を実施する際に必要な倫理審査の申請手続きについて、現行のメールベースでのやり取りから、システム化を検討している。	データベース化及び情報の自動入力によるヒューマンエラーの削減や、自動リマインドメール機能による適正な研究進捗管理などを目的としている。	1_未着手		上原キャンパス事務部企画課 倫理審査係	2年
119	地域貢献・国際交流	23S1-1	中期将来ビジョン国際交流関連事業に係る管理システムの導入	中期将来ビジョンにおいて推進する国際交流関連事業について、各部署教員等を対象に海外との国際交流活動に関するニーズ調査や活動実績のデータ取りまとめを行う管理システムを導入し、定期的にニーズや取組実績の把握ができるようにすることで評価指標達成に向けた取組の促進やサポートを行う。	国際交流を希望する教員等のニーズを把握することにより、必要に応じて対面やオンラインによる国際交流活動のサポートや交流相手となる協定校等とのコーディネート等を行い、国際交流活動の促進に繋げる。	4_実施済	令和4年度中にシステム構築し、令和5年度より運用を開始した。学内周知を行ったが、まだ利用実績が少ないので、引き続きシステム活用の促進に努める。	学生部国際教育課	調整期間を含めて3カ月程度
120	地域貢献・国際交流	23S3-1	学外者向けの図書館所蔵資料提供サービスの申込・支払いのオンライン化	学外者が図書館所蔵資料の取り寄せの申込・支払いをオンラインでできるよう、Web依頼フォーム・オンライン決済を導入する。	・容易で迅速な情報の提供を実現する。 ・オンライン決済の導入より請求業務の効率化を図る。	4_実施済		附属図書館情報サービス課 資料サービス係・医学情報係	2099/03/31

令和5年度 RX推進取組一覧

■業務運営No1～ ■教育・学生支援No49～ ■医療No76～ ■研究No112～ ■地域貢献・国際交流No119～ ■取組中止No123～

No	区分	取組ラベルNO	取組名	取組概要	実施効果	進捗状況 (3月確認)	進捗の課題等	実施担当部署名等	DX作業(予定)期間
121	地域貢献・国際交流	23S5-2	デジタルアーカイブによる文化資源のデジタル発信・利活用の促進	電子版が存在しない紙資料や禁帯出資料、本学の特徴であり強みである「琉球・沖縄関係資料」をデジタル化し、時間と場所を選ばない資料の利用を可能にする。また、「琉球・沖縄関係資料」について、AI等の機械翻訳を活用しながら、くずし字で書かれている本文の現代語翻刻テキストや英訳解題テキストを作成し発信する。	・電子化により時間と場所を選ばない資料の利用や利用解析が可能になることに加え、絶版で入手不可の資料の媒体変換による活用や保存が可能になる。 ・視覚障がい学生に対する学修支援として、紙資料を電子化し、OCR処理・音声テキスト化し、利便性の向上が期待できる。 ・医学部の移転を見据え、図書館資料のうち禁帯出資料を電子化することにより、利用者の利便性が向上する。 ・本学の特徴であり強みである「琉球・沖縄関係資料」をデジタル化するとともに、AI等の機械翻訳を活用しながら、くずし字で書かれている本文の現代語翻刻テキストや英訳解題テキストを作成し発信することにより、検索エンジン等から、現代語や英語での検索が可能となり、「琉球・沖縄関係資料」の一般市民の利用や国際的な利用を促進する。これにより、本学の知名度アップ等によるブランド力向上効果やシズンサイエンスの推進に寄与できる。	2_実施中 (進捗50%未満)	当館所蔵の貴重資料をデジタル公開している「琉球・沖縄関係貴重資料デジタルアーカイブ」の2025年度のシステムリプレイスを検討中。史資料のデジタル化とその公開における関係機関の動向調査や関連技術の最新情報について調査を行っているほか、外部資金等の予算獲得に向けた情報収集を行っている。	附属図書館情報サービス課 保存公開係	2099/03/31
122	地域貢献・国際交流	23S6-1	地域貢献活動実績調査の電子化	全学を対象に行っている地域貢献活動実績調査について、現在はエクセルにて回答を求めているが、回答からとりまとめ及びデータの管理までを全て電子システム上で対応できるシステムの導入を検討している。	・回答者の入力手続きの効率化、継続的に回答するにあたっての利便性の向上（データ入力、確認作業に要する労力削減）・事務担当者の作業効率の向上（取り纏め、編集作業に要する労力削減）・データの効果的な分析と活用に寄与	4_実施済		総合企画戦略部 地域連携推進課 企画係	10か月
123	業務・運営	23B10-1	RPA (Robotic Process Automation) を活用した定型業務の自動化	図書の発注・支払い業務等、定型業務について、業務手順をRPAに記憶させるシナリオ作成を行い、ロボットによる業務効率化を図る。	・定型業務について業務の効率化が期待でき、効率化により得られたマンパワーを、多様化・複雑化する教育ニーズに対応した図書館サービスの高度化実現に充てることができる。	5_取組中止	想定している定型業務について、ヒューマンエラーや個々の特殊ケースなどの対応に人力でのチェックが必要であり、RPAを導入しても、シナリオのメンテナンス、日々の業務チェックにより、業務の軽減を図るのが難しいことが判明したため。	附属図書館情報管理課図書雑誌情報係	
124	業務・運営	23B10-18	ITや当課宛の申請に関するお問い合わせの標準化	事務職員からのITや当課宛の申請に関するお問い合わせは同じような質問が多く、同じような回答や対応の業務に多くの時間を割いており効率化できていない。また昨今では、Teamsの個別チャットで問い合わせるケースも多く見られ、係内のナレッジとして共有できない課題も抱えている。情報提供の方法を改善・強化し、よくあるお問い合わせについてはオープンWikiやPowerVirtualAgentsを使用したChatBotを導入し、職員自身でナレッジに素早くリーチできるようにしたい。そうすることによって情報推進の業務に集中できる時間を確保したい。	職員のITに関する知識の底上げ 当課の業務ナレッジの蓄積化	5_取組中止	日々の業務を行いながら進めていく必要があり、なかなか時間を確保できない状況である。	総務部情報企画課 情報推進係・情報セキュリティ係	半年程度
125	業務・運営	23B10-3	運行日誌のデジタル (Forms) 化	現在、紙で対応している運行日誌や窓口対応が必要な鍵の受け渡しを自動化できないが検討している。	-	5_取組中止	検討した結果、運行日誌の電子化は、当初期待していたほどメリットはなく、却って不便になる恐れがあるため中止とする。	総務部総務課総務係	未定
126	業務・運営	23B2-2	勤怠システム	【6月】医師についてはDr.JOY、看護師はNurseAIDを導入済。その他のメディカルスタッフ、教職員についてもシステムの導入に向け準備を進めている。既に複数業者からのヒアリングを終え、仕様書策定の段階となっている。【12月】システムの提供者を選定の上、仮稼働を開始している。最初は事務部のみで導入し、試用期間を経て令和5年度中に医師・看護師以外の職員へも展開する予定。	看護師は既に紙媒体が廃止されており、相当数の作業時間が削減されている。医師は独自のシステムを使っていることから紙媒体の廃止ができておらず、業務削減には至っていない。来年度前半を目途にシステムへの1本化を目指している。その他の医療スタッフ、教職員に関しては、紙媒体・手作業で行っている月初の勤怠集計業務をシステム化することにより9割程度の業務を削減できると考えている。	5_取組中止	【課題】①複数のシステム導入が進んでおり、互換性が低い。②病院においては決裁ルートが複数あり、マスタ作成が煩雑。③変形労働制、裁量労働制、時差出勤などの制度導入が検討・実施されており、複雑な対応が必要になることが予想される。	上原キャンパス事務部総務課 労務・職員係	
127	業務・運営	23B2-3	育児・介護休業及び育児・介護部分休業の申請手続きの電子化	育児・介護休業等の申請手続きについて、データ (Excel) による申請へ変更する。	育児・介護休業等の申請は添付する書類が少ないため、申請フォームを作成しペーパーレス化する。申請内容をデータで受信できるため、決裁資料を作成する時間の削減が図られることが期待できる。	5_取組中止	申請手続のうち、①「職員本人→部局総務担当」と②「部局総務担当→人事企画課」のやり取りがあり、②を電子化することとして計画したが、①と②の一連の流れを電子化しないと効果的でないこと（紙と電子が混同すると途中で手打ち業務等が発生）と、上原キャンパスにおいては、他部局とも手続きの流れが異なるため、現状の手法から変更する場合、逆に業務の負担を増加させる懸念があり、計画を保留した。申請系の機能を備える新たな人事労務システムを利用する方が効果的であるため、当該システムが導入となればその際に改めて検討する。	総務部人事企画課任用係	
128	教育・学生支援	23E1-1	著作権に配慮した電子教材作成の支援	遠隔授業が増えた状況や、電子教材による予習復習の充実に備え、電子教材を作成する際の許諾が必要な著作物の利用と許諾が不要な著作物の利用とを分別し、FAQ化する。	・著作権に配慮した電子教材の作成に寄与できる。	5_取組中止	No 23R1-1（事項名：研究データ活用のためのメタデータ等の入力支援）と統合のため取り下げ	附属図書館	
129	教育・学生支援	23E1-3	館内コピー機の利用データによる学修行動分析	教員・学生が館内コピー機でコピーする資料のデータを蓄積し、どういった資料がよく使われているか等を分析し、選書の参考とする。また、館内資料をコピーする際には著作権法との関係で文献複写申込書の記入を求めているが、これを自動化し利用者の利便性向上を図る。	・利用者のニーズに合致した資料を備え、より充実した学修支援が可能となる。	5_取組中止	館内コピー機の運用方法が変更される予定のため、一旦計画を中止としたい。	附属図書館情報サービス課	
130	教育・学生支援	23E1-8	専用システムを利用した教科書やシラバス図書等、学修図書の貸与	専用システムを利用した教科書やシラバス図書等、学修図書を貸与する。	・教員や学生が時間や場所に囚われず、必要な時に何時でも学修用図書の利用が可能となる。（ブレンデッド教育への対応） ・読み上げ機能等を活用することにより、障がいのある学生等に対して、ユニバーサルな学修環境が提供可能となる。（マラケシュ条約、読書バリアフリー法への対応） ・何時・何処で・どの教科書のどのページを・どれだけの時間使用したか等の利用のログや、検索のログを、個人を匿名化した上で、利用者の属性等で解析を行うことにより、授業や学修・研究に必要と思われる資料情報の解析・提供が可能となる。 ・冊子購入より学生の教科書の費用負担を抑えられることが期待できる。 ・長期保存を前提としない資料の保存コストが削減できる。 ・学生が購入する教科書をデジタル化することにより、持ち歩きが容易になる。 ・教科書販売業務の軽減につながる。	5_取組中止	システムツールについて検証したが、教科書出版社・販売業者の権利・利益を阻害することなくデジタル教科書貸与のシステムを図書館で導入することが困難であるため、取り組みを中止する。シラバス掲載図書の電子書籍での購入、小・中学校デジタル教科書の図書館への導入と利用できる環境の整備は完了しており、今後も購入継続を予定している。	附属図書館情報管理課 図書雑誌情報係	
131	教育・学生支援	23E1-9	シラバス掲載資料の全文表示・オンライン書店への誘導	シラバス掲載資料の全文表示・オンライン書店への誘導	・シラバスの参考書データに図書館蔵書検索システム（電子書籍を含む）へのリンクは実現しているが、さらにオンライン書店へもリンクし、資料を手元に置きたい学生の一助とする。 ・本学シラバス経由でオンライン書店にアクセスされた場合には、ある種の広告料を求めることにより、収入増につながる可能性がある。	5_取組中止	著作権問題の解決・出版者との利益が相反することにより、実現が困難であると判断したため。	附属図書館情報管理課 図書雑誌情報係	
132	教育・学生支援	23E6-13	就活アドバイザーの予約システムの構築	現在HP上でも可能であるが、必ず職員を挟む必要がある状況、Teams及びBookings、Outlookを活用し、アドバイザーが予約管理、情報確認ができる仕組みと学生の利用しやすい環境を整備		5_取組中止		学生部学生支援課就職係	

令和5年度 RX推進取組一覧

■業務運営No1～ ■教育・学生支援No49～ ■医療No76～ ■研究No112～ ■地域貢献・国際交流No119～ ■取組中止No123～

No	区分	取組ラベルNO	取組名	取組概要	実施効果	進捗状況 (3月確認)	進捗の課題等	実施担当部署名等	DX作業(予定) 期間
133	医療	23M1-1	他大学の企画情報運営部門等を参考し、病院の医療情報関連部門の再編を提言する	病院の経営企画や患者サービスの質の向上は診療や管理情報の分析を参考して意思決定が必要があると思われます。医療情報部は副部長が診療情報管理センターの併任のみ病院の業務に関わっていること、企画課や医事課の企画情報関連の職員の一部は移動職になり、ノウハウの伝達が非常に難しいと、技術職員の年齢層もたかめのため、統合の可能性を検討し、上層部に提言します。	縦割りのコミュニケーション不足の解消と、ガバナンスの強化、さらなるデータ情報および技術活用の推進	5_取組中止	教員医療職組織と事務組織の統合はハードルが高いため	医療情報部/診療情報管理センター	1年
134	医療	23M11-1	がんゲノム検査オーダーにおけるエキスパートパネル依頼の一部自動化	がんゲノム検査のエキスパートパネルを依頼する際の準備として、検査会社および、がんゲノム情報管理センター(C-CAT)からの調査結果レポートを、各々のシステムにログインして収集しなければならない。また、収集したレポート等の資料をEP依頼のルールに従った形式でまとめ、定められたフォルダに格納する必要がある。Office365のPower Automateを活用し、上記一連の作業を一部自動化する事を検討する。	年間80件×1検査当たりの作業時間20分⇒27時間の削減が見込まれる。	5_取組中止	症例数が少ないため、作業のタイミングが無い。/(3月進捗)症例の数は増えてきたが、スピーディな対応を求められることから作業時間の確保が難しく、現行通りの操作であまり問題が無いため。	上原キャンパス事務部 医事課情報管理係	3ヶ月
135	地域貢献・国際交流	23S5-1	バーチャル博物館の展示物と図書館資料のリンク・3Dデータ提供	バーチャル博物館(ストリートビューのようなイメージ)の展示物に関連図書館資料データをリンクする。	・バーチャル博物館(ストリートビューのようなイメージ)の展示物に関連図書館資料データをリンクすることにより、博物館資料と図書館資料の相互活用が期待できる。 ・3Dデータを作成・提供し、平面では感得できない学修に寄与する。	5_取組中止	3Dだけでなく平面図や音声・動画等も考慮した内容へ再検討の必要がある。博物館と図書館資料をリンクさせたオンライン展示の在り方について、関連分野の最新情報も鑑みながら検討を進めたいため一旦計画を中止としたい。	附属図書館情報サービス課 保存公開係	
136		23S5-3	離島・へき地の小学校との交流	国頭地区の小学校での教職実践演習の実施にあたり、その事前・事後指導の一環として遠隔での交流を実施する計画である。	教職実践演習の前提科目である教職実践研究の充実と小学校での活動開始にむけた活動の効率化	5_取組中止	受け入れ校(大宜味小学校、有銘小学校、高江小学校)の都合により活動計画を中止	教育学部	5か月